

令和3年度 第2回西都市学校再編調査検討委員会会議録

期 日 令和3年11月25日(木)

場 所 コミセン2階

会議時間 14時00分から15時30分まで

出席委員

委員名	出欠	委員名	出欠	委員名	出欠
川井田和人	○	五島哲也	○	中武三月夫	○
黒木利美	○	増田恵二	○	原田美弘	○
小森重喜	○	坂本光志	○	山腰孝幸	○
榎本浩之		永田和久	○	植野義也	○
曾我部美佳	○	佐藤須三郎	○	宮元芳幸	○
山之口善徳	○	宮崎 誠		伊東泰彦	○
大澤由一	○	黒木俊輔	○	宮野原貴仁	○
杉田昇平	○	長谷川和史	○	大崎貞伸	○
木村智一	○	平郡富士男	○	宮田明大	○
伊東敏和		弓削大作	○	鬼塚崇之	○
江川知成		中村廣文	○	重永浩樹	○

事務局 押川教育政策課課長補佐、高松教育政策課課長補佐
中武教育総務係長、指宿学校再編専門監

- 議事日程
- 第1 開会
 - 第2 委員長挨拶
 - 第3 第1回会議録承認
 - 第4 協議
 - (1) 経過報告
 - ① 第1回西都市新中学校再編検討委員会
 - ② 第1回庁内検討委員会
 - (2) その他
 - 第5 閉会

1 開 会

事務局 皆様こんにちは。お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。
進行を務めます教育政策課の です。よろしくお願いたします。
それでは、ただいまより、第2回西都市学校再編調査検討委員会を始め
させていただきます。お手元にお配りのレジユメに基づき進行させていただきます。

2 委員長挨拶

事務局 まずは1番目「委員長挨拶」となっております。委員長の教育長が挨拶
いたします。

教 育 長 皆さんお忙しいところ第2回学校再編調査検討委員会を計画いたしましたところたくさんの方に御出席いただきまして本当にありがとうございます。新型コロナウイルスの猛威もひと段落といったところなんですけれども、第6波への注意を怠ることなく警戒していかなければならないなど思っておるところでございます。皆さんにおかれてはどのような状況でありましょうか。8月に開催いたしました前回の委員会で西都市中学校再編計画が承認をされまして、この学校再編計画に沿って、10月26日に第1回の新中学校設立推進委員会、そして11月4日に第1回の学校再編庁内検討委員会を開催することができました。今回の議題は新しく立ち上がったこの2つの委員会の状況の報告が中心となります。新中学校設立推進委員会につきましては、この委員会と兼務されている方もたくさんおられますので、部会の動きも始まっておりますことから、承知されてる方もたくさんいらっしゃると思いますけど、各部会の動きそれぞれを把握し、総合的に理解を進めていかなければならないと考えております。また、庁内検討委員会につきましては、関係各課の課長を集めまして、予算が関係するものは特にこの場で検討していかなければならないという風に考えております。そしてこの会において今回は再編時に不足する教室等の善後策等について検討を始めたところでございます。それぞれの進捗状況について本日は詳しい説明がございます。その中で報告したことに対しましてそしてそのそれぞれの会において今後検討していただきたいこともあるかと思えます。こういうようなものについて本委員会の委員の立場から忌憚のない御意見をいただければ今後の会がスムーズに進んでいくのではないかと思いますし、この会の役割が達成できるのではないかという風に考えております。皆様方においては、来週から12月ということになりますけれども、寒さも厳しくなりますけれども十分に体に御留意されて、年末の忙しさを乗り切っていただければと思っておるところでございます。本日は貴重な時間をいただきましての会議です。どうかよろしく願いいたしたいと思えます。

3 会議録承認

事 務 局 ありがとうございます。続きまして3番目第1回会議録承認となっております。8月27日に開催しました第1回委員会の会議録を事前にご送付させていただきました。会議録につきましては、委員の皆様のご確認用に作成したものではありませんが、公表することも考えております。内容を御確認いただき、間違い等がありましたら訂正したいと考えておりますのでよろしく願いいたします。何かありますでしょうか。

事 務 局 それでは、会議録につきましては終了したいと思います。

4 説明・協議

事 務 局 続きまして、「4 協議」に移ります。ここからは、委員長に議長を務め

ていただきます。よろしくお願いいたします。

委員長 それでは私の方で議長を務めさせていただきます。委員の皆さんの忌憚のない御意見をお願いいたします。協議の1番目は経過報告となっております。新中学校設立推進委員会を開催しておりますのでそちらからの報告をお願いいたします。

新中学校設立推進委員会副委員長 皆様お疲れ様です。先ほど委員長から説明がありましたとおり第1回新中学校設立推進委員会が10月26日に開催されました。まず会に先立ちまして委員長・副委員長の選出が行われ、委員長に 先生、副委員長に私が選出されました。委員長が所用で欠席ですので、代わりまして副委員長の が報告させていただきます。はじめに代表3名の委員に委嘱状が授与されました。次に教育長から挨拶があり、続いて学校再編計画と新中学校設立推進委員会の在り方について協議を行いました。その後7つの部会に分かれまして第1回目の部会が開催されております。各部会においては、それぞれの部会長及び副部会長を選出し、今後の取り組みを進めるための推進計画を検討しました。今年度中に実施予定の第2回目までに各部会の計画が立案されることになっております。それぞれの部会の状況についてはこの後事務局から報告させていただきます。以上報告を終わります。

事務局 私の方からまとめて7つの部会についての報告をさせていただきます。配付しております部会別協議記録を御覧ください。初めに総務部会です。(2)具体的検討事項を御覧ください。そこにある通り、まず学校名を令和4年度に公募するとしております。また制服については令和6年度の1年生から新しいものにするために令和5年度までに決めることも検討されています。女子の制服についてはスラックスも選択できるように検討しています。(3)年次計画にあるように公募方法の案を2月までに決め7月までには決定することを検討しています。第2回目を12月17日に妻中で開催し、公募の方法について検討します。次に教務部会です。(2)具体的検討事項を御覧ください。目指す学校像に対応できるように特色ある学校づくりを検討することにしています。また、地域との連携、さいと学、学校行事について教育課程を検討していくことにしています。12月上旬に開催される教務主任会を受けて、1月27日に穂北中で第2回を開催することにしています。次に生徒指導部会です。上履き、制服等は令和6年度の新入生から揃える方向で検討しています。今後の検討事項として、校則、生徒会、通学方法を挙げております。特に(3)の年次計画にもある通り、バス乗車については保護者の負担感もあることが予想されると考えており懸案事項に挙げています。また、11月15日に第2回の生徒指導部会を開催し、資料にも入れてありますが、年次計画が出来上がっております。その中で、今年度中に通学方法・通学路についてさらに検討しておきたいということで、2月に第3回生徒指導部会を開催する予定で現在日程調整中です。スクールバス等につきましては大きな予算も関わりますので、庁内検討委員会でも

議題にすることで、できるだけ保護者の希望にも沿った形を作り上げていきたいと考えます。次に保健体育部です。(2)にある通り部活動の在り方が大きな課題となっており、文部科学省が令和5年度から本格化される地域部活動の動向と中学校再編の時期が重なっているためこれから検討を重ねていく必要があります。手分けして年次計画の作成に取り組むことになっています。また、体育着につきましても令和6年度の入学生からの変更を検討しています。1月13日に都於郡中学校で第2回の部会を開催する予定です。次に庶務部会です。大きく備品購入・廃棄、文書類整理・保管、備品台帳、会計引継、校納金方法の5点について検討していくことになっています。年次計画としては、令和5年度までに5点を確立し、令和6年7年度に備品整理・移動・購入、諸表簿作成に当たることにしています。1月中旬に第2回庶務部会を開催します。また、懸案事項に抜群に魅力ある中学校再編のための庶務部会からの提言も挙げておりますので御覧ください。次に図書部会です。この部会では、西都市の中心校となる新中学校における図書室の在り方を検討することになっています。また、市立図書館との有機的・効果的連携についても検討していきます。図書館の在り方、図書館の運営、図書購入、備品運搬・廃棄について(3)にある時期に検討していくことにしています。第2回部会は2月に開催する予定です。最後に地域・PTA部会です。この部会ではPTA規約づくり、組織づくりを中心に検討していきます。地域学校協働活動については、教育委員会の動きを待って取り組みます。これまでのPTAの在り方から脱却した新たな組織づくりも考えています。本日18:30から第2回地域・PTA部会を妻北小学校校長室で開催します。以上で第1回目の各部会についての報告を終わります。各部会の委員長や副委員長もここにおられますので、補足があればお願いいたします。

委員長 今の報告がございましたが、各部会に出ておられる方で、補足等がありましたらここで御発言をお願いいたしたいと思います。

委員 一点皆様に知っておいていただいたほうがよろしいことがありますのでここでお知らせしておきます。校則の検討が報道でも話題になっておりますけれども、各学校ともいろいろ準備は進めているんですが、再編があるものですから、今後は、銀鏡は一部一緒になるところとならないところがありますけれども、市内の全中学校で生徒指導部会か生徒会を中心にこの冬から校則検討については足並みを、今凸凹がありますけど、令和6年度のスタートまでには足並みがそろって検討を進めるということで、令和4年度から4回のサイクルでそろえていくような方法で考えておりますので、校則の検討が始まって改正がなされるときにはPTA関係の方にも御案内があると思いますので、御承知おきください。

委員長 校則に関するものであります。そのほか、部会で補足等がありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。補足等がなければ、今の報告

に対しまして御意見・御質問があればお願いいたします。

委員 スクールバスについてなんですけれども、実際に使用することになるのかもこれからだと思いますけれども、先ほどの提案の中で各学校を出発としてというのが提案されていまして。とてもいいことだと思うんですけど、問題は中学校が移転して中央の学校に行くことになったとき、そのほかの学校がどのような処理というか、あとになっていくのかというところでだいぶ変わってくるかなと思うんです。例えば、どこかに売却してしまえばその敷地の中で自転車を止めることは無理ですし、しかしそのまま置いてあるのであればもしかしたら自転車置き場も使えるかもしれない。そうするとだいぶバスの路線も減らされて効率的にできるんじゃないかなあと思ったものですから、そこへんもし考えがあれば教えていただけると助かるんですけれども。

事務局 スクールバスというか通学手段につきましては、まだ検討が始まったばかりということもありまして、具体的に申すことはできませんけれども、それに加えて跡地の活用、これも並行して今後検討していく予定ではございますけれども、具体的にはまだこれからというところでございます。先ほどありました、スクールバスを走らせるとして、各中学校を起点とするところも方法のひとつでありますので、様々な方法を検討しながらより良い方向となるように今後詰めていきたいと思っておりますので、意見がありましたら今後もいただけたらと思っております。

委員長 ありがとうございます。具体的にはまだ決めていないけれどもということでしたけれども生徒指導部会の方でもこのような意見が出たということは当然とらえていただけたらと思っておりますので、検討の時にそのような話もしてください。よろしく申し上げます。

委員 庶務部会の一番下に懸案事項がございます。この部会に出てきていること自体いろんな方が入って議論されたんだろうなという感じがしますが、ここで大事な魅力ある学校をこれが一番大変なことだと思いますが、それに関しての基本計画について、今のままでちょっと弱いのではないかなというように提案がなされています。おそらくほかの部会でも影響することだと思いますが、特に教務部会あたりに影響してくるのかなと思っておりますが、この辺について市の考え方、どんな感想をお持ちかということをお聞かせいただけたらありがたいなと。

事務局 大変ありがたい御意見として受け止めさせていただいております。抜群に魅力あるということで、施設面から教育課程の面から再度肉付けをしてより魅力的なものが作れればと思っておりますので、これから各部会の検討も参考にしながら、きちんと作り上げていきたいなと思っております。たくさん意見が出ればいいなと思っております。

委員 関連して失礼します。専門監の話を聞きながら、昨日校長会もあって話が出たところではあるわけですが、魅力ある学校というのが漠としすぎて

いてちょっと、私は図書館部会をやっておりますけど、部会としてどこを目指しているかがわからず現行の妻中学校に肉付けをする形なのか、まったく新しいものを作っていかとかその辺のところの目指すべきところが、なかなか見えてこないというのがジレンマとしてあります。ですので、できましたら、魅力ある学校をもっと箱モノとしてこんな学校というふうに示していただけると、それぞれの部会でさらに検討がしやすいのではないかと思います。そういったことを感じながらお話を聞いていました。図書館部会についても図書館の場所はここでいいのか、今のものを広げるのか、まったく別の図書館、別な場所があるのかそういったところも含めながら考えていく、もうちょっと魅力ある学校だけではなかなか進めづらいというのが正直なところですよ。

委員長 今の問題、委員長が言うのもあれですけど、魅力ある学校づくりという中で一つは教育課程だと思うんですね。それともう一つは生徒指導関係の考え方、それと施設と考えているんですけど、一つ一つ言うわけにはいかないんですけど、やはりどうしたら子供たちが行きたい中学校になるか、どうしたら子供たちの意に沿う、個々の能力に応じた学習指導ができるのか、あるいはその子の能力を伸ばす学校を作ることができるのかということが一つ、一つはやっぱり教育課程だろうと、教育課程をどういう風にしていくかということが一つと、生徒指導の在り方、それと施設、それらに関して図書館の話とか、庶務部会とかいろんなものが動いてくるんでしょうけど、そこについても一人の考え方ではなくて、いろんな方がどう考えておられるのかということをもとめていく必要があるのかなと思っております。ですので、部会で出てきたものをここでもう1回もんで、こういうところを最終的には魅力あるというとらえ方の中の特徴として出していこうという風に考えている。まだ私たちの口からどうこう言えるところではないので、これは教育課程が一番難しいのは文科省が出している部分をどこまで読み込めるかというところがありますので、そういう部分はもう少し時間がかかる。その一番は、個々を大切にすることですね、個人を大切にしていってここを大切にするための方法はどうあればいいかというところをそれぞれのところが、今の段階では、部会では考えていただければ見えてくるのではないかと考えているところです。ここについては異論があるかもしれませんが、部会等を含めてここに挙げて、ここで最終的に皆様が意見の統一を図って、成案にしていきたいという風に思っているところです。

委員 今お話になった部会から上がってですね、それで魅力ある新中学校をという考えでまとめていきたいというのはちょっと私逆じゃないかなという気がするんですが、せめて大項目で魅力ある新中学ね、そういうのを魅力あるというのは、先に今の教育問題だったら、全教科専門の先生がついてそれなりに深掘りするかそれから新しい校舎で35名体制でコミュニケ

ーションをとるとか施設については違った形の活用ができる、例えば図書館だとか体育館とかそういう設備の充実をすとかですね、あと、部活動については、もうちょっと体育系、文科系を広めて、皆さんの個性を汲んでいくとそういう感じの魅力ある学校像というのをこの1年間まとめて大まかな魅力ある新中学校というこういう形に持っていくよというそれが部会の皆さんがそれに伴って今までとは違った考えでこれをまとめていくということになるんじゃないかなあという気がするんですが、どうでしょう。

委員長 委員の方から意見が出ましたけれども、いかがでしょうか。委員が言われたよう部活動であれば当然文化部も出てくるであろうし、それから教育課程であれば、個の能力に合わせるということであれば、少人数のクラス編制で、今持つてる力のクラスで勉強すとか、いろんな方法が考えられますけど、最終的に問題なのは、教員の数とかいろんなものが出てきますので、そういうところをどこまでここで話ができるかということがあるんですけど、部会の中では理想を作ってもらって、それを整備をしながらそして庁内検討委員会でどこまでできるか、予算が伴いますので、話をしたものをここで最終的にという形が私たちが考えたんですけども、今言われるようにある程度枠組みを示せということであれば、枠組みは示せないことはないんですけども多分先ほど言われたような我々が示すとすれば部活動の数とか、あるいは教室の在り方とかそういうことになってくると思うんですけども、まだほかにもあるような気がするんですよ。それをできれば、部会等を出していただいたものを取りまとめる中でここにあげる形にするという風に私たちは思っているところです。私たちの考え方だけでおろしてしまうよりは、保護者の方、市民の方の意見が反映される形の方がいいのかなというところで今のところは考えているところです。それについて、こっちから示せというのであれば示せないことはないけれどもちょっと固くなるのかなという心配をしているところです。そこら辺について部会の方でもう少し話し合いをさせていただければありがたいという風に思っております。

委員 了解しました。

委員長 そのほかございませんか。

委員 今話された議題を含むんですけども、2点ほどお話させていただきたいと思いますが、まず1点生徒指導部会に挙がっているスクールバスを走らせる話題にちょっと戻りますけれども、中学校を起点にスクールバスを走らせるという風になっていますけど、茶臼原小学校の校区には中学校はありません。穂北中学校、妻中学校、木城・高鍋・新富の中学校に分かれていくような感じです。現中学校を起点にというと、穂北中学校まで茶臼原小学校の子供たちは行ってそこから妻の中学校に通うということになるんですけども、たぶん親目線からいうと、直接学校に行った方が近い

と穂北に1回行くよりという風になってしまうので、そういった立地の場所もあるということもしっかり、まあ人数は少ないですけども茶臼原、例えば茶臼原であれば、市が管理している茶臼原地区の体育館、都於郡方面でも体育館とかありますけれどもああいった場所を活用するとか市の施設を活用するとかといったことをしていただけるとありがたいなあという風には思います。茶臼原だけでなくほかの学校の校区でも中学校までが遠いという世帯もいらっしゃると思います。それをくまなく全軒というのもなかなか大変かと思うんですけども、やはりそういった部分もしっかりしていただくことが人口の集中化、中学校に近いところにどんどん子育て世帯が集まるような現状になると各地域がどんどん少子化、過疎化が加速してしまうような問題も起きてしまうと思われまので、検討の中でしっかりとさせていただきたいなと思います。あと1点は私も図書部会をやっているんですけど、現状の妻中学校に行ったことがありません。妻中学校の現状もわかりません。私たちも真剣に考えているんですけども、現状をまず知って、どうしていきたいかということも必要なのかなと、コロナの関係でなかなか施設に入るのが難しいのかもしれないけども、スライドとか写真だけでも見せていただくと、いろんな検討課題も見えてくるのかなあとおもいますのでまたそのへんもよろしくお願いします。

委員長

今の件についてどうですか。

1点目についてのみお答えしたいと思います。誤解があるといけないので、もう1回きちんと整理しておきたいんですけど、生徒指導部会のページの方、右側の方を開いていただくと、6番通学方法についてというところがありまして3つ目の○なんですけども、まず結論を言うんですね、アンケートを取ろうということになっております。早ければ本年度末までに、拙速なアンケートはかえって誤解を生みますので、アンケートの内容も吟味しながらパターンを示してとるということになっております。ここには出た意見が書いてありまして、スクールバスをくまなく走らせるのは無理これは無理です。すべての御家庭の周りを回るのは無理なので、現中学校に集合するのが文句が出ないのではというのは一つの意見です。その時に出た。これに傾斜している訳ではありません。何パターンか提示して、すべての要望を聞入れるのは無理なので、何パターンかするようなアンケートを検討して作っていかうとなっておりますので、御意見を伺いたいなあと思います。すでに統合されているほかの自治体の事例では、すべての御家庭の子どもさんが学校に集まっているわけではないので、そこは承知しておりますので、このように進めるということではないということだけ御承知おきください。

委員長

2番目について何かありますか。

2回目の図書部会をできましたら妻中を借りて妻中の図書室でやりたいなと蔵書とかそういったものを見ながらきたらなという風に思っております。

ます。

委員 長
事務局

事務局の方2番目について何かありますか。
委員からありました部会を妻中で開催するというのもとてもいい方法の一つかと思ったところです。確かに現状というか中身について知りたいというのはごもつともで、何かしら施設の紹介なりができるようなことについては検討していきたいなとは思いました。

委員 長

貴重な意見をいただきありがとうございます。本当に子どものためになるようにしていくということが、魅力あるということにもつながっていきますので、今のような意見と一緒に議論していければこの場が生きると思っていますので、よろしくをお願いします。それでは、地域・PTA部会について何か御意見はありませんか。

委員

PTAというのはいろんな保護者の意見を聞きながらいろんな活動をしていかないといけないと考えています。全国的にPTA自体が訴えられる事案も出てきている中でPTAがブラック企業ではないけど、ブラック組織みたいな感じでマスコミでも報じられて、PTAという組織は自分も必要な組織だと考えています。でも一部の保護者にとっては苦痛で苦痛でたまらなくて脱退するとまた子供がいじめにあったりして、それもまた裁判が起こされて、起訴にはされないけどわだかまりができてというのがあって、子供にもPTAというのがまた悪影響を与えていることが多々あると聞きます。自分たちもPTA改革をしていかないといけないという認識はあるんですけど、どうしても何が問題で何がやっていいことか悪いことかとかです。詳しいことがはっきりわからない状態でPTAの推進委員会とかやっているんですけど、そこで有識者まあジャーナリストの大塚さんという人がいるんですけど、その人は改革をされたPTAとかを取材してこういう感じで悪かったところをこうやって改善していますよということを書籍とかで取り上げられ、PTAの改革を推進されています。また、法律面とかでも個人情報法とかが改正されて一人でも個人情報を漏らしてはならないというなかで、学校から保護者の児童名と保護者の勤め先とか電話番号とかそういうのが学校から普通に渡されているけど、これは本当は個人情報違反だよという弁護士さんから聞いたこともあります。それはただ訴えられてないだけで本当は法に触れているという、そこを厳しくされるとまたPTA活動もなかなか厳しいなあと、それでまた訴えられたりするとPTA会長さんが代表者なんで、その人が子どものために一生懸命頑張っているのに、そこで訴えられたりするとまたPTA会長さんがせっかく頑張っているのにそこでまた足を引っ張られるとか、水を差されるとか、活動がしにくくなるなど、子供たちにもまたPTA会長が悪いことしたっていう認識を与えてしまうと子供たちに対しても悪影響かなと、そこらへんで弁護士さんとか有識者の人の意見を聞きながらPTAという役作りをやっていきたいなと考えているんですけど、そこで弁護士さんと

か頼むには予算が必要かなと、そこらへんはどうなんですかねえというのが聞きたいことです。

委員 長
事務局

事務局いいですか。

P T Aの在り方について今後検討されるというのは会の中におりましたので理解しておりますが、弁護士を含めてということにつきましては初めて聞きましたので、現時点ではお答えしかねるというか、なかなか難しいところもあるのかなあと今の時点では考えたところです。

委員 長
委員

そのほかございませんか。

総務部会を担当しています。各部会の内容を聞かせていただいたうえで皆さん方に考えをお聞きしたい点があります。先ほど事務局から御説明がありました通り、まず学校の顔となる校名になりますがこれが決まらないことには各部会当然いろんな意見がありましたが見えてこないというのがあります。まず核となる顔となる校名を選ぶにあたりまして、公募を予定しております。令和8年度の開校から逆算するとやはり来年度中には決めないと他の部分も決まらないのかなと、ただし、魅力ある中学づくりということで、これが全くフラットな状態で新中学校を目指していくのか、それとも、この西都に地域に1校だけあります妻高校、こういった中高の地域の学校としての連携を目指していくような形での中学校を目指していくのか、まあそのあたりで公募するにあたって、こちらもただ学校名を公募してもなかなかつかみづらいのかなあと先ほどお話が合った通り、受け皿となる現妻中学校に肉付けをした形でのイメージを持たれる方と、一方で全くフラットな新中学校をイメージされる方、なかなかちょっとわかりづらいのかなというところでその公募の方法、こちらからのこういう中学校を目指してますよという提案をする上で公募する上でも、私たちもまだなかなかどういった形でやったらいいのかなあというところがございます。そのあたりをちょっと御意見をいただければ参考にさせていただきたいと思えます。よろしく願いいたします。

委員 長

ここでまた部会で話し合うために何か御意見があればということでしょうか。(そうですね) 総務部会で話し合うためにこういうような考え方をさせていただくとありがたいとか、新しい学校に対するイメージということなんでしょうかね。

委員

そうですね、こちらから提案をするからには地域の学校一つの学校として高校が地域の高校が一つ妻高校がありますけど、地域ぐるみで連携をしていく、それとも中学校自体の独自性をもって魅力ある提案をこちらから作り上げていく、そのあたりがちょっと。

委員 長

おそらく学校についてはさいと学というのが小中高つながっていくので、小中高がつながった形というのはイメージしないといけない、そこはずれてはいけないことだと思います。中学校だけ独り歩きするのではなくて小学校があって中学校があって高校がある西都市の中の中学校が2校、

高校が1校という形の中で考えなきゃいけないという風に思っています。
そのほか今のことについて御意見があればお願いします。

事 務 局

案が取れた学校再編計画が本格的にスタートしたのが8月27日なんですけど、この中に学校再編の基本方針として5点ですね、集団規模を大きくし、活力ある学校の設置を目指す、それから学力向上に資するため、各教科の専門教職員の確保など指導體制の充実を図る、3番目に故郷を愛し、夢と希望を持った児童・生徒、ここに児童が入っていますけど、の育成を図る、まあ小学生も含めてということでしょうか、それから環境の変化に伴う生徒の精神的負担の軽減を図る、遠距離通学の対応など、過重な物理的・経済的負担の軽減を図る、これが基本方針になっておりますので、これに新中学校の部会とか庁内検討委員会の方で肉付けを今からしていくという段階になっております。それから、同じ再編計画の後ろの方にですね、設置に向けての課題検討方針として、施設整備について、それから人的整備について、通学の安全確保について、地域との連携について、そして学校跡地の利活用について、そして最後に今委員からあった連携型小中一貫教育についてということも検討課題に挙げておりますので、何かしら検討をしていく必要があると考えておりますので、これからできるだけ進めていきたいなと思っております。御協力をよろしくお願いいたします。

委 員 長

事務局からありましたが、そのほか皆さんから総務部会の方であればお願いしたいと思っております。

委 員

今の公募の件につきまして、公募するときはこの基本方針と基本計画等をホームページとか広報まあどのような形ですかわかりませんが、こういったところに配慮等行ったうえで公募して、またこれに沿った中でまた公募されたものを決めていくという形をとれば、一番伝わる形なんじゃないかなあとは思っています。

委 員 長

ありがとうございます。この部分をもう少しいろんなところで話し合ってもっと具体性のある肉付けも進んでくるとおもうと思っておりますけれどもありがとうございます。このほか何かあれば。

委 員

自分も総務に所属してまして、本日午前中に穂北小が参観日でした。その中で現4年生と3年生の保護者に新中学校2・3年生に編入する保護者の方に今回の新中学校に関する御意見とここにちょっと載ってます制服を令和6年度の中学1年生からという案が出ていますけど、該当する保護者の方の意見をということちょっと懇談に参加して話を伺いました。人数少ないですけど保護者の意見としてちょっと御報告をしたいと思っております。まず制服に関しては、3年生の保護者の方はほぼほぼどちらかというんですけど新制服という話を聞いて今すぐ答えてくださいという形だったので、どちらかと言えば新制服を各学校に入学するときにするといいなあという感じでした。4年生、中3で編入する保護者に関して言えば、半々でした。その理由としてはたぶん2年間その制服のまま各学校にいないと

いけない、令和8年で初めてそろうということは1年生の時は上は2年生と3年生は違う制服だと、これが2年間続くという理由なのかなと感じました。これは総務部会でたぶん検討していく内容ですので報告です。あと、これ以外に質問なり疑問に思っていることなどをアンケート形式でお願いしたんですが、一番もう前から言われています一番不安に思っているのが少ない人数から大きい人数のところ編入・合併するときに進路に関して不安があるとか、子供の環境の変化によって進路に影響が出るのではないとか、そういう意見がものすごく多かったです。一つの要望としては、保護者によってはですね、統合しないでほしいという保護者もいるんですけど、統合するにしても現中学校のクラスのまま、そのまま穂北中だったら穂北中の子供がみんな同じクラスを作ってほしいと、そういう人数はばらけたりすると思うんですけど、このクラスは多いとか少ないとか出てくるかもしれませんが、そういうコミュニティを守るようなバラバラにならないようなことをしてほしいという意見がありました。あと、特に4年生は受験があるので不安に思っていることが多いようです。いじめとか不登校とかそういう環境の変化によってそういうことが誘発されるのではないかという心配をしている保護者が結構いました。これは今すぐ答えは出ないという話はしたんですけど、学校としても市としてもそういうことがないようになるだけのアドバイスしていくという感じですけど、保護者としてはたぶんある程度答えが欲しいというか、まあそこにやるとしたら今の段階でもこういうことに取り組んでいきますとか、スクールカウンセラーを設置してとか言うことのある程度明確な今の段階での明確な答えがちょっと欲しいのではないかなという風を感じました。

委員長 ありがとうございます。十分事務局の方でも考えて出せるところは出していくと思います。そのほかございませんか。今回いただいた意見をもとに庁内検討委員会でいろんな検討を進めていきたいということも考えております。

委員 すみません。今までこの会でアンケートを取ってメリット、デメリットというのがこう出てますというところが出てきたんですけど、これ今部会に7つですか分かれて初めての人も入ってきていると思うんですね。今までの検討委員会に入ってなくて、私のところも今まで全然関係ない部員が妻北として出さしてもらってますから、そうすると皆さん、新しい中学校の検討するときに過去のアンケートでデメリットとか問題点、保護者から出てる問題点こういうことがありますよと、それぞれ関係部会ごとにかつてのアンケートで関係ある問題・課題ははこういうのを保護者からのデメリットで出てますよとか、いうのをもう一度明確にされてればいろいろと検討されるときにそれをこういう風にして課題をクリアしようとかいうことでいい部会の進み方になるんじゃないかと思ったので、お話ししました。

委員長 その辺のことを含めて事務局の方検討お願いします。よろしいでしょう

かもう一つ報告がありますので、庁内検討委員会についての報告をお願いいたします。

事務局 2番目の第1回学校再編庁内検討委員会について報告をさせていただきます。庁内検討委員会につきましては、名前の通り市役所内部の組織でありまして委員長に副市長、委員の方に教育長はじめ関係課長合計9名で構成されておりますので、事務局の私の方から報告させていただきます。第1回目の庁内検討委員会は去る11月4日に開催しました。協議題としましては学校再編計画の確認、庁内検討委員会の在り方、その他ということで3点について協議したところであります。再編について初めて検討される方もおられましたので、初めに学校再編計画について概要を確認しましたがこれについては特に意見はございませんでした。それから次に庁内検討委員会の在り方について協議しました。今後の検討の方向として、先ほども話題になっております通学方法に関する計画、それから予算面も含めた交通体制整備と通学の安全確保について、妻高校への進学率を含めた中高連携の在り方、学校の大規模化に伴う不登校生徒への対応などの必要性について話題になったところです。庁内検討委員会の進め方としましては、副委員長は置きませんが、全体での協議を基本とし部会をそこまでは開催せずに必要に応じて個別に相談していく、まあ内部ですので、打ち合わせ的なことをしながら柔軟に進めていきたいということになっております。それから大きな課題としまして「教室等施設改修の検討」についての協議をお願いしました。資料等はございませんけれども、新中学校の開設、令和8年4月時点で教室が5つ不足するというお話をさせていただき、意見交換を行っていただいたところです。現在のところ明言はしておりませんが妻中学校の敷地内に仮設教室を設置するあるいは周辺の施設を用途変更して活用するこういった可能性について意見をいただいたところです。また、一時的な教室数の不足であるとして後年不足が続くのかについての資料の提供を求められたり、先生たちも増えますので、職員駐車場の確保、それから部室の整備、給食コンテナの大きさなど規模が大きくなるに伴う課題について早急に検討する必要があるとの意見が出されたりしたところです。また、再編計画のスケジュール案では、再編計画の一番後ろにつけておるんですけれども来年度から施設改修の基本設計を行うことにもなっておりますので、この会にかかわらず関係課と協議を重ねながら第2回目の庁内検討会議につないでいきたいと考えておるところです。それから、庁内検討委員会の中で、本日の再編調査検討委員会、それから新中学校設立推進委員会が出た意見をお互いに共有・理解しながら進めていきたいということで認識したところでありました。全体としては大枠についての協議ということで、次回以降具体的な話が出てくるのかなあと考えたところです。以上報告を終わります。

委員長 はい、今、報告があった通りです。まだ具体的なことをいう段階ではな

くて今までの流れを含めて庁内の関係各課に理解を求めたという段階のようです。これについて何か御意見等ございますでしょうか。

委員 半分要望みたいなものですが、資料を見せていただいておりますが、各部会忙しい中でいろんな議論がされているなと感じは受けるのですが、直接入ってないとなかなかこのような整理では映りにくいとそれで意見を求められるとしんどいところがありまして、もう少し部会の大事な問題について枝葉を着けた整理ができないのかと1点感想としてですね。それから特に市の検討委員会ですか、これが今のような報告だとちょっとまずいんじゃないかと、教育長さんが言われるようにまだ説明してまだ皆さんに理解をいただいた段階だということでありましたけれども、まあ先ほど説明を聞く限りは、かなりいろんなことについて大事な分野についても議論がされたというような報告なんですね。ここについても記録として残していただいてそれについて何かということであれば、説明だけで非常に審議を進めづらい感じがするんですね。たとえ第1回の検討委員会であったとしても、そこで議論された内容くらいはやっぱりメモにして提供してほしいなあと感じがするんですね。またそのへんについてもよろしく願いいたします。

委員 長 はい、ありがとうございました。そのほかございませんでしょうか。
委員 部会別の協議記録の方なんですけれども、タイムスケジュールとか事業計画がついているところとついていないところがあると思うんですけれども、早めに活動計画の方だけでもすべての部会そろえていただいて、私保健体育部会なんですけど、校名がいつ決まるのかとかそういった他の部会の計画を見ながら関係するところは、これはこの後に協議しましょうとか自分たちの部会の方でもスケジュールが組みやすくなっていくのかなと思いますので、すべての部会において活動計画をまず一番最初に作っていただいて、その中で庁内検討委員会等でもいいんですけど、これじゃちょっと遅すぎるとかですね、これはまだ後でもいいからこっちを先にしてくださいとかそういった検討も庁内検討委員会などで、改善してもらって早めにスケジュールが組めて、それに沿って行って開校を目指していけるのかなあというところを感じたところです。

委員 長 ありがとうございます。そのほかございませんか。
委員 先ほど言うのを忘れたんですけど。保護者の意見の中で中学校で中2中3に編入するのであれば、ここで何回も話が出たと思うんですけど、中1の時から妻中に入れないかという話をされた保護者がいます。それをここで何回か話があったと思うんですけど、明確な答えというか、それを市の方から言ってもらってないので、わたしたちPTAで言われたときに、直接市の方に問い合わせてくださいという返答でいいのか、そこら辺をちょっとお聞きしたいなと思って。

委員 長 その件については、まだ我々の方も結論を出せません。もう少し時間が戴きたい。もう少しありますので中学校再編までもうちょっとありますの

で、もう少し時間をください。これはなかなか簡単に出せる問題ではないんです。非常に難しい問題を抱えますので、もう少し時間をいただいて詰めていきたいと思っておりますので、できればやっぱり今の中学校に時期が来た時というのが今までのほかの合併するときのやり方としてはそんなやり方をしてるんですね。ですからそういうところの何が問題で、先ほど言われたように何がメリットで何がデメリットとして出てくるのかということを含めてから対応させていただければと思います。すいません今の段階では答えが出せません。

事務局

いろいろな団体にお邪魔して40回ほど説明をさせていただいているんですね。そこで出た御意見とか、アンケートに対して、今の時点での回答ということで、30項目くらいにまとめて、どこの学校でこんな意見が出たとかずら一つとあるんですけども、それらを同じようなものをくっつけて30項目くらいにしたのを各団体の長の方々には送らせていただいたんですよ。こういうものなんですけれども。これの中に今、長谷川委員がおっしゃったことも「再編時中2、中3になる子供には1年生から入学できる選択肢を与えてほしい」という質問に対して回答としては「現在は校区外通学の基準があります。他県では再編日に先駆けて生徒が一斉に移動した例も見られます。過渡期の生徒に不利益や心配が出ないよう、学級編制の工夫、さっき長谷川委員がおっしゃったように穂北中出身の子を固めるとかいろいろなことも入っていると思うんですけど、や人事異動の工夫、そこに穂北中で担任だった先生まで連れてくるとか、例えばですよ、などについて、これから検討していく予定です」というようなことで30項目くらいまとめたものがありますので、もしお持ちでなければお渡しますので、御連絡いただけないでしょうか。以上です。

委員

これは事務局の方に要望なのですが、先ほど庁内検討委員会の方で施設の改修等について協議をさせていただいているということをお聞きしました。私妻中の方なんですけれども、これは昔からの問題なんですけど、立地が市街地ということもありまして、なかなか駐車場の確保というのができない状態で近隣の施設とかにも御迷惑をおかけしているところでもあります。また統合ということになりますと、遠方から保護者の方も来られることになると思います。当然ながら今妻中では近隣の方はできるだけ乗り合わせ、もしくは徒歩でということをお願いをしているわけですが、これが災害時の緊急の下校であるとかそういったときに車等でやはりお迎えに来られる保護者の方もおられると思います。そういった時の場所の確保というのがますます厳しくなるのかなあということもありますので、そちらの活用方法も含めまして、ほかの施設の改修と合わせまして、検討いただくとありがたいと考えておりますのでどうかよろしく願いいたします。

委員長

ありがとうございました。時間もそろそろ参りましたけれども、経過報告につきましては以上でよろしいでしょうか。（「よし」という声）ありが

とうございます。ではその他に入ります。事務局お願いします。

事務局 この会でもですけど、各地域、保護者の方々等にまだまだ説明が行き渡らず、理解が不十分なところもあるかと思っております。ここにおられる委員の皆様におかれましては、一番再編については御理解いただいている方々だと思っておりますので、それぞれのお立場で今後学校再編についての理解が深まるよう御尽力いただけますと助かるなあと思っております。また、今年度4月以降につきましては各地区で説明会をさせていただきましたが、今後においても定期的、あるいは要望に応じて可能な限り、現在の検討状況とかそういったものをできる場というのを設けていきたいなと思っておりますので、そういった地域・保護者からのお声があればぜひ御連絡いただければと思っております。その他ほかに議題はございませんけれどもお願いばかりで申し訳ございませんがよろしくお願いいたします。それから、次回の会議は年明け2月に開催できればと考えています。また、日程調整をさせていただきますのでその際は早めの回答をよろしくお願いいたします。事務局からは以上です。

委員長 その他として委員の皆さんからは何かございませんでしょうか。

委員 今後、定期的とか進捗状況を依頼があれば説明会を行いたいという事務局から説明がありましたけども、市のPTA協議会として小学校の会長さんに先ほど説明してくれたように2・3・4年生の保護者に対していろいろな意見を聞き取ってPTA協議会の中にあげたりとか、市の方で報告してほしいと要望しております。また、やはり進捗状況の説明がして欲しいという意見も多数挙がってますので、要望がなくても総会とかで出向いていただいて説明会をしていただきたいとお願いとしてこの場で述べさせていただきます。よろしくお願いいたします。

委員 実は早いんですけど、閉校式典はどうされるのか。実は今山田分校の閉校式の実行委員をやってて児童がいない状態での1年遅れの閉校式典をやってて、あまりにも1年という期間の中で、校長先生も新任で全く携わったこともない中で一生懸命やられているんですけども。また児童がいない中で地域の人たちの盛り上がりも全くなく、閉校式典をやる意味があるのかなと、自分母校じゃないんで、当事者、本当にかかわった保護者がやってくれというような気持で委員に何人か入れさせてもらったんですけど、閉校式ってなったらやっぱり児童がいるときにやってもらわないと厳しいなと。出遅れ感がだいぶあって、地域からの批判もあったみたいでやらざるを得なくなって急遽やることになったんでしょうけど。できれば予算もまたあれもやりたいこれもやりたいと言い出すと予算がないんで、予算を集めるとなると全く1年という期間では全く無理なんで、2～3年前からたぶん動かないと記念碑を建てるだけでも多分予算がなくなるんじゃないかと。そこで記念誌を作るとなってきたらもう、本当に寄付とか募ってやらないと厳しいんじゃないかなと。記念誌を作るのかそれとも一括

して市が電子書籍みたいなやつで、各学校のまとめたホームページでまとめていただくと記念誌とかを作るとかいう予算とかも慌てなくても済むのかなと、まあそういうところも検討していただきたいなと思います。

委員長 検討させていただきます。ただ一言だけ言っておきたいんですけど、都於郡小の山田分校は閉校した後に子供たちが行った後に閉校式は次の年にやりましょうというのは話し合いの中で決まっていたんです。それで今その形を踏んで来年の2月にやりましょうということで地域の方それから校長先生を含めて、地域が中心になりながら、どのように閉じていくか、そのあとのことも含めて子供がいなくなることはないことにはそのあとの土地の利用のことも話できませんのでそういう形で今進めているところです。御理解をいただきたいと思います。その他ございませんか。ほかになれば、協議はこれで終了させていただきたいと思います。長時間ありがとうございました。先ほど話がありましたように来年2月にお集まりいただくことになるということでしたので、日程調整の回答よろしく願いいたします。後は事務局の方にお任せします。

事務局 長時間にわたり貴重な御意見ありがとうございました。これで本日の全てを終了させていただきます。年越しに向け健康に留意され、くれぐれも御自愛ください。ありがとうございました。